

火薬類取締法の適用を受ける火薬類に係る事故等の報告様式について

平成28年12月22日
経 済 産 業 省
商務流通保安グループ
鉾山・火薬類監理官付

火薬類による事故発生時の対応を規定した「火薬類事故措置マニュアル」のうち、事故の分類、事故報告様式について見直し、平成29年1月より暫定的に適用することとしました。

平成29年1月1日以降に発生した事故については、「火薬類事故措置マニュアル（平成24年9月19日付け20120919商局第50号）」における事故報告「様式1～様式3」について、別添の事故報告「様式1～様式3」に読み替えて対応頂きますようお願いいたします。

事故報告（報告段階：速報・中間報告・確報）
[* どの報告段階か記載]

報告者：所属機関、部署名、氏名
報告日時： 月 日（ ） 時 分

- [* は記載要領であり、事故の内容に応じて適宜記載すること。]
- [* 速報においては、分かる範囲で記載すること。]
- [* 確報においては、速報や中間報告で記載している内容であっても、省略せずに全ての事故情報を記載すること。]

1. 事故等発生の日時

[* 日時及び曜日。時刻は 2 4 時間呼称。]

2. 事故等発生の場所

[* 住所、事業所名、具体的な事故発生場所（製造工場にあつては工室名、消費場所にあつては切羽の位置、花火大会名等）]

3. 事故等の概要

①事故の分類

[* A 級、B 1 級、B 2 級、C 1 級、C 2 級の別]

②取扱いの種別

[* 製造・消費・運搬・貯蔵・がんろう・その他の別]

③概要

[* 事故発生前後の状況、発生までの経緯、事故時の状況、終息までの経過、等]

[* 具体的な事象（黒玉、火災、低空開発等）を明記。]

④事故に関係する事業者

1) 事故当事者

[* 監督部、都道府県等に対して製造、消費等の許可申請を行った者]

2) 関連事業者

[* 「1) 事故当事者」以外であつて、事故に係る火薬類を取扱う者（例：発破作業や煙火打揚等を行う消費業者、煙火の製造業者等）]

4. 火薬類の種類及び数量

①種類

[* 事故に関係する具体的な火薬、爆薬、火工品の種類]

[* 消費許可申請書や製造営業許可申請書における「火薬類の種類」も参照]

[* 具体的な商品名等]

[* 煙火の場合、種類・号数・消費方法等]

②数量

[* 事故に関係する火薬類の数量]

[* 当日の取扱い数量（全体）。消費を中止した場合等は、消費・未消費数量の別も分かる範囲で記載。]

5. 事故等の理由又は原因

[* 直接的・間接的な発生原因、被害拡大原因等をできるだけ詳細に記載。]

[* 推定の場合は、推定理由、推定上参考となるべき事実、原因究明のために行った調査、原因を判断・推定した者等を記載。]

6. 都道府県等関係行政機関がとった措置

①応急措置

[*主に事故発生直後や当日中に行った措置]

[*具体的な措置内容（関係者への連絡・情報提供、救急活動、消火活動、緊急作業等）を記載。]

[*措置を行った主体（具体的な行政機関名等）を明記。]

②事故措置

[*具体的な措置内容（現場調査、当事者に対する指示・指導・処分、関係者に対する注意喚起・情報提供等）を記載。]

[*措置を行った主体（具体的な行政機関名等）、措置の対象（事業者名等）を明記。]

[*措置を行った方法（文書発出、口頭、等）を明記。発出文書があれば必要に応じて添付。]

③対策

[*具体的な対策内容を記載。]

[*対策を措置した主体を明記（行政機関が策定し事業者等に対し指導した対策か、事故当事者等が自ら行う対策として行政機関に報告した内容か、等。）]

[*行政機関等が事業者に対して対策の指導等を行った場合、その対象を明記（事故当事者だけに指導したのか、管轄地域内の関係事業者に広く指導を行ったのか、等）]

[*指導等を行った方法（文書発出、口頭、等）を明記。発出文書があれば必要に応じて添付。]

7. 事故等の被害状況

①人的被害

[*死者、重傷者、軽傷者の別（「中等傷」は不可）]

[*当事者・第三者被害の別]

[*具体的な負傷内容（負傷部位、入院日数、全治までの期間等）]

②物的被害

[*具体的な被害状況（箇所、範囲、規模等）、直接被害総額、等]

[*当事者・第三者被害の別]

[*公道の通行止め等の社会的影響があった場合は、その詳細も記載。]

8. 法令違反の有無及びその内容

[*具体的な該当条文、違反と判断した根拠等]

[*事故原因に直接関わりのない法令違反等もあれば記載]

9. その他参考となる事項

①報道

[*テレビ、新聞（全国、地域）、インターネット等における報道状況]

②許認可関係

[*火取法に基づく、届出、許可、完成検査、保安検査、定期自主検査に係る年月日を記載]

[*最近の保安検査時における状況、製造又は取扱保安責任者、代理者及び副保安責任者氏名等の情報]

[*必要に応じて、許可内容が分かる資料を添付。]

③意見

[*当該事故を踏まえ、現行法令・基準類に対する意見、実験研究の実施を要すると思われる事項、本省に対する要望等]

④その他

[*必要に応じて、事業者からの事故届、図面（配置図、フローシート、事故部分の図面）、写真、現地の新聞記事等を添付]

添付資料【煙火以外の火薬類の取扱中（製造中を除く。）の事故の場合】

事故発生時の 気象状況	天 候		気 温		風向・風速		特記事項			
			°C		の風 m		()			
業 種	土木 (内容)		砕石		石切場		その他			
	()						()			
現場区分	貯蔵所				消費場所					
	火薬庫		庫外貯蔵庫		切羽	取扱所	その他			
							()			
	廃棄場所		運搬路		その他					
				()						
事故状況	飛石	発火	火災	爆発	爆風	落石	落盤	その他		
								()		
従事作業	発破作業						廃棄作業	運搬作業		
	発破等準備		発破等本作業		発破等後処理					
	その他		()							
許可等の有無	消費許可		廃棄許可		運搬証明		その他	()		
許可条件										
発 破 関 係	関係従事者	手帳所持者	黒	人	青	人	黄	人	計	人
	発破種別	ベンチ		盤下げ		小割	トンネル	深礎	その他	
		(高さ: m)							()	
	使用薬種	親ダイ:				増ダイ:				
	使用雷管・ 火工品	電気雷管					工業雷管		個	
		瞬発	DS	MS	電子遅延式		段数		導火管	親ダイ用
		個	個	個	個		個		付き雷管	コネクタ
	導爆線		m	導火線		m	その他 ()			
	せん孔	孔径 (mm)	角度 (°)		孔 数		孔長 (m)	孔間隔 (m)	最小抵抗線 (m)	
		mm	°				m	m	m	
	装薬方法	1孔当たり装薬量						総装薬量 (全孔) (kg)		
		親ダイ (kg)		増ダイ (kg)		計 (kg)		kg		
		kg		kg		kg				
発破係数	(計算根拠)									
込め物種 類・長さ	くり粉		砂		砕石		粘土	その他	長さ (m)	
					(号)			()	m	
岩の種類	珪岩	硬砂 岩	砂岩	花崗 岩	輝緑 岩	安山 岩	玄武 岩	石灰 岩	頁岩	その 他
										()
岩の状況等	節理等:					湧水:				
防護措置	一次防護:					二次防護:				
点火・ 退避位置										
特記事項										

添付資料【煙火の消費中の事故の場合】

事故発生時の天候		
事故発生時の風向・風速		・ _____の風 _____ m/s [* 事故発生時の予測の風速] ・ (最大) _____ m/s (平均) _____ m/s [* 煙火の消費時間中の見込み]
事故発生地点の距離		消費位置から _____ m
事故煙火の安全な距離		_____ m (半径) [* 消費許可申請書における「安全な距離」]
消費位置と事故発生地点との位置関係		1. 風下方向 2. 風上方向 3. 左右方向 4. その他 () [* 斜め打ち等の場合は、筒の方向との位置関係も記載]
消費許可	消費許可の有無等	1. 許可消費 2. 無許可消費 (規則第 49 条第 号) (消防への届出 (A. 有 B. 無)) [* 無許可の場合は、「根拠条文」及び「消防届出の有無」を記載]
	当日の消費規模 (全体数量)	[* 消費許可申請書における「火薬類の種類及び数量」等]
事故当事者		[* 消費許可申請者 (花火大会の主催者等)]
関連事業者	煙火の消費者	[* 実際に現場で、事故煙火の消費を行った者]
	煙火の販売者	[* 事故煙火を事故当事者や消費者に販売した者]
	煙火の製造・輸入者	1. 国産 (製造業者名: _____) 2. 輸入 (輸入先国: _____)、(輸入業者名: _____)
煙火の消費従事者		・ 保安教育受講記録 1. 有 2. 無 [* 各機関・団体・事業者等が、消費従事者に対して行った保安教育] ・ 煙火消費保安手帳の種類 () [* 煙火協会が交付する煙火消費保安手帳の種類] ・ その他 () [* 事故煙火を実際に取り扱っていた者について記載。] [* 必要に応じて、その他の「消費計画書」の「消費場所において火薬類を取り扱う必要のある者」についても記載]
事故の現象		1. 筒ばね 2. 過早発 3. 低空開発 4. 黒玉 5. 地上開発 6. 部品落下 7. 異常燃焼 8. 異常飛翔 9. 残滓 10. 火災 11. その他 [* 事象の定義は、「煙火消費事故の原因と対策」参照]
煙火の点火方法		1. 遠隔点火 (A. 電気点火 B. 導火線点火 C. 無線点火) 2. 直接点火 (A. ロングヒューズ方式 B. スターメイン方式 C. 投げ込み方式 D. 早打ち方式 F. 振り込み方式) 3. その他 ()
煙火の防護措置		1. 有 (A. 畳 B. ポリカーボネート C. その他) 2. 無 3. その他 () [* 従事消費者が負傷した場合に記入。直接点火及び離隔距離を短縮した場合、従事者の防御措置や安全対策を行っていたか記載。]
その他特記事項		

